

記者会見
29.2.17
資料 1

平成29年度（2017年度）当初予算案の概要
 明日を担う子どもたちに、ふるさと秦野を引き継いでいく予算

I	市政に臨む基本の方針と主要な施策	1
II	各会計の予算規模	2
III	一般会計	3
IV	企業会計及び特別会計	7
V	平成29年度の主な事業	8

I 市政に臨む基本的方針と主要な施策

生産年齢人口の減少による市税収入の減と、高齢化の進行による社会保障経費の増を背景に、自治体運営が大きな転換を促される中で、限られた財源を効果的かつ効率的に活用することで、一人でも多くの笑顔に出会えるような「秦野らしさのある^{まち}都市」への取り組みを進めます。

平成29年度は、総合計画後期基本計画（平成28～32年度）のリーディングプロジェクトに位置付けた4つの施策を柱として、事業の積極的な展開を図ってまいります。

1 豊かな自然・良好な住環境づくりのための施策

平成29年度中の完成を目指し、鶴巻温泉駅南口の周辺整備や名水はだの富士見の湯の建設を進めます。

また、本市の貴重な資源である「秦野名水」の知名度を高める、秦野名水講演会を開催します。

2 未来につなぐ出産・子育てのための施策

タブレット型端末の導入などによる小学校ICT環境の整備を進めるとともに、小・中学校トイレの洋式化・快適化の第二次整備に着手します。

また、子どもの医療費助成に係る所得制限の緩和等を行います。

3 安全・安心で人との絆を大切にすまちづくりのための施策

消防署西分署の建替え工事に着手するほか、30メートル級はしご車を更新します。

また、一般社団法人が進めている「秦野市地域生活支援センター」の設置・運営を支援するほか、おおね公園スポーツ広場を多目的の利用を可能とする人工芝グラウンドへ改修します。

4 にぎわいと交流を創出する地域経済活性化のための施策

秦野を舞台にした映画「じんじん～其の二～」を活用したシティプロモーションの推進や鶴巻温泉と大山を結ぶバスルートを整備するための実証運行に取り組みます。

また、秦野サービスエリア周辺を新たな産業拠点として土地利用を図るため、事業化に向けた調査等を実施するとともに、スマートインターチェンジへのアクセス道路等に必要な用地の取得に引き続き取り組みます。

Ⅱ 各会計の予算規模

会 計 名	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	比 較	
			増 減	増減率 (%)
①一般会計	516億4000万円	497億7000万円	18億7000万円	3.8
【企業会計】 ②水道事業会計	34億2000万円	31億4800万円	2億7200万円	8.6
【企業会計】 ③公共下水道事業会計	56億5700万円	73億3222万8000円	△16億7522万8000円	△22.8
④国民健康保険事業 特別会計	214億9200万円	213億円	1億9200万円	0.9
⑤介護保険事業 特別会計	114億7500万円	110億9900万円	3億7600万円	3.4
⑥後期高齢者医療事業 特別会計	20億1300万円	19億6100万円	5200万円	2.7
合 計	956億9700万円	946億1022万8000円	10億8677万2000円	1.1
企業会計合計(②、③)	90億7700万円	104億8022万8000円	△14億322万8000円	△13.4
特別会計合計(④～⑥)	349億8000万円	343億6000万円	6億2000万円	1.8

Ⅲ 一般会計

1 予算規模

市民の幸せの実現のため、総合計画後期基本計画に位置付けた事業を積極的に展開し、未来に向かって輝き続けるまちづくりを着実に進めます。このようなことから、平成29年度予算を「明日を担う子どもたちに、ふるさと秦野を引き継いでいく予算」として編成しました。

一般会計の当初予算額は、総額で516億4,000万円。平成28年度当初予算に比べて、18億7,000万円の増額となりました。25年度から5年連続で過去最大規模を更新しています。

2 歳入

(1) 市税

市税全体では、28年度当初予算と比べて、2億円減の230億2,000万円となりました。

主な減額要因では、固定資産税は、引き続き、土地評価額の下落が続いていることなどから、2億1,610万円の減を見込みました。

主な増額要因では、法人市民税は、税率引下げの影響が平準化し、企業収益が堅調であることを背景として、2,980万円の増を見込みました。

【市税の状況】

区 分	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
個人市民税	91億4830万円	91億4970万円	△140万円	△0.0
法人市民税	11億4300万円	11億1320万円	2980万円	2.7
固定資産税	97億3340万円	99億4950万円	△2億1610万円	△2.2
市たばこ税	10億3300万円	10億1400万円	1900万円	1.9
そ の 他	19億6230万円	19億9360万円	△3130万円	△1.6
合 計	230億2000万円	232億2000万円	△2億円	△0.9

(注) 予算額は、現年課税分と滞納繰越分の合算額です。

【市税予算額の推移】

平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	平成27年度 当初予算額	平成26年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額
230億2000万円	232億2000万円	232億2000万円	233億2000万円	233億5000万円

(2) 市税以外

税収不足を補填する普通交付税は20億9,000万円を見込みました。また、普通交付税の代替財源である臨時財政対策債は、28年度当初予算に比べて5億4,000万円の増の24億円としたことから、市債全体では、18.1パーセント増の45億7,950万円を発行する予定です。

財政調整基金は、28年度当初予算に比べて9億6,590万円増の20億5,190万円を取り崩す予定です。

【市税以外の状況】

区 分	平成 29 年度 当初予算額	平成 28 年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
普通交付税	20 億 9000 万円	21 億円	△1000 万円	0.5
臨時財政対策債	24 億円	18 億 6000 万円	5 億 4000 万円	29.0
市債発行額 (臨時財政対策債を含む。)	45 億 7950 万円	38 億 7730 万円	7 億 220 万円	18.1
各年度末市債残高見込み	351 億 9722 万円	344 億 2609 万円	7 億 7113 万円	2.2
財政調整基金取崩し額	20 億 5190 万円	10 億 8600 万円	9 億 6590 円	88.9
各年度末財政調整基金 残高見込み	18 億 9443 万円	32 億 1909 万円	△13 億 2466 万円	△5.8

3 歳出

これまでプライマリーバランスの黒字化（市債発行額を、その年度の元金償還額以下に抑制することで市債残高を縮減）に取り組んできた効果により公債費が7年連続で減額となります。一方、高齢化の進行に伴う扶助費の増額に加え、伊勢原清掃工場90トン炉の延命化などに伴う秦野市伊勢原市環境衛生組合への分担金の増により、補助費等が増額となりました。

普通建設事業費は、29年度中の完成を目指す、鶴巻温泉駅南口周辺整備事業や名水はだの富士見の湯の建設のほか、おおね公園スポーツ広場の人工芝への改修などにより、28年度当初予算に比べ7.4パーセントの増額となりました。28年度当初予算に比べて増額となる主な普通建設事業費は、次のとおりです。

- (1) 鶴巻温泉駅南口周辺整備事業費（+6億7,872万6,000円）
- (2) スポーツ施設改修事業費（+2億3,747万円）
- (3) 消防署西分署整備事業費（+1億7,006万8,000円）

【款別経費比較表】

款	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	増 減	増減率 (%)
1 議会費	3億4936万7000円	3億4962万6000円	△25万9000円	△0.1
2 総務費	69億5938万4000円	61億4123万5000円	8億1814万9000円	13.3
3 民生費	224億4066万1000円	219億4619万1000円	4億9447万円	2.3
4 衛生費	41億3704万3000円	37億5798万8000円	3億7905万5000円	10.1
5 農林費	4億5755万7000円	4億7518万2000円	△1762万5000円	△3.7
6 商工費	9億2601万7000円	8億1683万8000円	1億917万9000円	13.4
7 土木費	72億4527万9000円	73億6807万9000円	△1億2280万円	△1.7
8 消防費	24億4197万6000円	22億7947万円	1億6250万6000円	7.1
9 教育費	32億7786万1000円	30億8630万1000円	1億9156万円	6.2
10 公債費	33億5485万5000円	34億9909万円	△1億4423万5000円	△4.1
11 予備費	5000万円	5000万円	0円	0.0
合 計	516億4000万円	497億7000万円	18億7000万円	3.8

【性質別経費比較表】

区 分		平成 29 年度当初予算 (構成比)	平成 28 年度当初予算 (構成比)	増 減 (増減率)
義務的経費	人件費	98 億 4201 万 8000 円 (19.1%)	96 億 7032 万 3000 円 (19.4%)	1 億 7169 万 5000 円 (1.8%)
	扶助費	135 億 7245 万 2000 円 (26.3%)	132 億 5311 万 4000 円 (26.6%)	3 億 1933 万 8000 円 (2.4%)
	公債費	33 億 5485 万 5000 円 (6.5%)	34 億 9909 万円 (7.0%)	△1 億 4423 万 5000 円 (△4.1%)
	計	267 億 6932 万 5000 円 (51.9%)	264 億 2252 万 7000 円 (53.0%)	3 億 4679 万 8000 円 (1.3%)
投資的 経費	普通建設 事業費	64 億 6183 万 2000 円 (12.5%)	60 億 1678 万円 (12.1%)	4 億 4505 万 2000 円 (7.4%)
その他の経費	物件費	69 億 8446 万 8000 円 (13.5%)	65 億 4621 万 4000 円 (13.2%)	4 億 3825 万 4000 円 (6.7%)
	維持補修費	3 億 967 万 2000 円 (0.6%)	3 億 1434 万 2000 円 (0.6%)	△467 万円 (△1.5%)
	補助費等	28 億 8865 万 4000 円 (5.6%)	24 億 2176 万 2000 円 (4.9%)	4 億 6689 万 2000 円 (19.3%)
	積立金	3 億 1251 万 9000 円 (0.6%)	1 億 8358 万 9000 円 (0.4%)	1 億 2893 万円 (70.2%)
	貸付金	3 億円 (0.6%)	2 億 9000 万円 (0.6%)	1000 万円 (3.4%)
	繰出金	75 億 6353 万円 (14.6%)	75 億 2478 万 6000 円 (15.1%)	3874 万 4000 円 (0.5%)
	予備費	5000 万円 (0.1%)	5000 万円 (0.1%)	0 円 (0.0%)
	計	184 億 884 万 3000 円 (35.6%)	173 億 3069 万 3000 円 (34.9%)	10 億 7815 万円 (6.2%)
合 計	516 億 4000 万円 (100.0%)	497 億 7000 万円 (100.0%)	18 億 7000 万円 (3.8%)	

IV 企業会計及び特別会計

1 企業会計

(1) 水道事業会計

給水収益は、水需要の減少により、28年度当初予算に比べて0.6%の減少となりましたが、水道施設の耐震化を含めた計画的な更新を実施していくための水道事業計画を着実に進める予算としましたので、予算額は、28年度当初予算に比べて8.6パーセントの増額となりました。

(2) 公共下水道事業会計

公営企業として、公共下水道事業の持続的経営を進めるために事業計画を策定し、29年4月からの下水道使用料改定により、下水道使用料収益が28年度当初予算に比べて5.7%の増額となり、ライフラインとして安全で安定したサービスを提供できるよう、施設の効果的かつ計画的な整備及び維持管理に努める予算としました。

なお、予算額は、市街化区域の汚水整備と浄水管理センター（沈砂池管理棟）の改築事業がおおむね完了したことなどにより、28年度当初予算に比べて22.8%の減額となりました。

2 特別会計

(1) 国民健康保険事業特別会計

平成30年度から県が財政運営の責任主体となる国民健康保険制度改革への対応や高齢化の進行及び医療の高度化等による保険給付費の増加のため、予算額は、28年度当初予算に比べて0.9%の増額となりました。

(2) 介護保険事業特別会計

第6期介護保険事業計画の最終年度を迎え、高齢者の増加に伴い、サービス利用者数が増加することから、予算額は、28年度当初予算に比べて3.4%の増額となりました。

(3) 後期高齢者医療事業特別会計

被保険者数の増加に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金が増額したため、予算額は、28年度当初予算に比べて2.7%の増額となりました。

V 平成29年度の主な事業（★は新規事業）

1 豊かな自然・良好な住環境づくりのための施策

(1) 鶴巻温泉駅南口周辺整備事業

（都市整備課、戸籍住民課、環境資源対策課 事業費：13億5493万円）

平成29年度末の供用開始に向け、駅前広場と県道立体横断施設の整備を進めるとともに、小田急電鉄株式会社が実施する駅施設（南口橋上改札口等）の整備工事の促進に努めます。

また、広場周辺に駅前連絡所を開設するとともに、広場内に公衆トイレを設置します。

（単位：千円）

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
駅前広場等の整備 1,294,796	281,204	8,333	681,600	諸収入 3,000	320,659
駅前連絡所の開設 31,154					31,154
公衆トイレの設置 28,980				公共施設整備基金 28,980	
計 1,354,930	281,204	8,333	681,600	31,980	351,813

(2) 秦野駅北口駅前広場再整備事業

（都市政策課、道路整備課、くらし安全課 事業費：3億6527万円）

平成29年度末に完成予定の大秦ショッピングセンターの建替えに対する補助のほか、駅前広場のペDESTリアンデッキの延伸工事やエスカレーターの新設工事を行います。また、30年度での自転車駐車場の建替えに向け、実施設計に着手します。

（単位：千円）

事業費 (総事業費 35億円)	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
大秦SCの建替え補助 64,900	32,450		2,300		30,150
ペデの延伸等 280,200	100,000		157,600		22,600
自転車駐車場の実施設計 20,168	5,987	2,900	5,400		5,881
計 365,268	138,437	2,900	165,300		58,631

(3) 名水はだの富士見の湯の運営を開始

(クリーンセンター周辺整備担当 事業費：3億3334万円)

平成28、29年度の2か年の継続事業として整備を進めてきた、はだのクリーンセンターの熱エネルギーを活用した「名水はだの富士見の湯」を29年10月にオープンします。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
整備事業 274,806					274,806
管理・運営費 58,527					58,527
計 333,333					333,333

(4) 秦野駅南部（今泉）土地区画整理事業

(都市整備課 事業費：3億1861万円)

平成28年度からの継続事業として、29年度は、道路等の公共施設に充当するための用地の先行買収を完了させ、換地設計を行います。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
318,610	118,800		87,400		112,410

(5) 秦野名水講演会を開催 ★

(環境保全課 事業費：118万円)

名水百選選抜総選挙おいしさが素晴らしい名水部門で第1位を獲得した「おいしい秦野の水～丹沢の雫」をはじめとする「秦野名水」を多くの人に知っていただくため、平成29年8月に秦野名水講演会を開催します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,180				ふるさと基金 1,180	

2 未来につなぐ出産・子育てのための施策

(1) 子どもの医療費助成に係る所得制限の緩和等

(子育て支援課 事業費：4億5794万円 (拡充分では+1654万円))

小学校6年生まで実施している子どもの医療費助成について、平成29年4月から、小学校就学児に対する所得制限を緩和するとともに、未就学児に対する所得制限を撤廃する拡充を行います。

(単位：千円)

事業費 (扶助費)	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
457,935		82,055			375,880

(2) 小学校におけるICT環境の整備促進

(学校教育課 事業費：4580万円)

児童が使うパソコンを、幅広く活用できるようタブレット型に更新(492台)するとともに、学習内容を拡大して写し出すテレビモニターを全ての普通教室に設置します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
タブレット端末の導入 22,843				ふるさと基金 12,500	10,343
テレビモニターの設置 22,951				ふるさと基金 12,500	10,451
計 45,794				25,000	20,794

(3) 小・中学校トイレの洋式化・快適化の第二次整備に着手 ★

(教育総務課 事業費：6195万円)

平成29年度からの4年間で、小・中学校全てのトイレの和式便器を洋式化するとともに、快適トイレに改修します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
小学校 (143台) 44,640				ふるさと基金 24,000	20,640
中学校 (55台) 17,310				ふるさと基金 10,000	7,310
計 (198台) 61,950				34,000	27,950

(4) 公私連携によるみなみがおか幼稚園の認定こども園化を推進

(教育総務課 事業費：14万円)

幼児教育上必要な集団性の確保及び高まる保育ニーズに対応するため、市立みなみがおか幼稚園を公私連携幼保連携型の認定こども園として、平成31年4月の開園を目指します。29年度は、公募型プロポーザルによる法人の選定を行います。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
133					133

(5) 市立の認定こども園・幼稚園の保育室に空調設備を設置

(保育こども園課、教育総務課 事業費：1006万円)

市立の認定こども園と幼稚園の保育室のうち、空調設備が設置されていないものについて、平成29、30年度の2か年で設置します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
認定こども園 (6室) 2,418				ふるさと基金 2,418	
幼稚園 (19室) 7,638				ふるさと基金 7,638	
計 (25室) 10,056				10,056	

3 安全・安心で人との絆を大切にすまちづくりのための施策

(1) おおね公園スポーツ広場を人工芝に改修 ★

(スポーツ推進課 事業費：2億4225万円)

おおね公園スポーツ広場において、フットサルなどの利用も可能とするとともに、効率的な利用ができるように、人工芝のグラウンドに改修します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
242,250			145,600	ふるさと基金等 96,650	

(2) 消防署西分署の建替え工事に着手

(消防総務課 事業費：2億477万円)

平成28年度に行った実施設計に基づき、29年度から31年度の3か年の継続事業として建替え工事に着手します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
204,768		22,000	137,000		45,768

(3) 30メートル級はしご車の更新 ★

(警防対策課 事業費：1億8700万円)

高層建物火災などへの対応能力の維持向上を図るため、消防署本署に配備している購入後23年が経過した30メートル級はしご自動車(1台)を更新します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
187,000	50,600	15,800	108,500	公共施設整備基金 12,100	

(4) 障害者地域生活支援拠点づくりの支援を継続

(障害福祉課 事業費：7368万円)

一般社団法人秦野市障害者地域生活支援機構において、平成29年10月の開設に向けて準備を進めている、相談、就労、地域活動の支援機能を持つ「秦野市地域生活支援センター」の設置及び運営に対し、28年度(事業費3,639万円)に引き続き、支援します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
設置への支援 63,300			21,600	財政調整基金 27,000	14,700
運営への支援 10,374					10,374
計 73,674			21,600	27,000	25,074

(5) チャレンジデーへの参加 ★

(スポーツ推進課 事業費：300万円)

「スポーツで元気なまちづくり」をテーマに、全国の自治体と楽しく競い合う住民総参加型イベントとして、公益財団法人笹川スポーツ財団が5月に開催する「チャレンジデー」に初参加します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,000					3,000

(6) 女性相談体制の充実

(市民相談人権課 事業費：182万円)

女性相談件数の増加や相談内容の複雑化などに対応するため、教育庁舎で行っている女性相談の開設日を平日週2日から週4日に増やすなど、相談体制を充実します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,811	895				916

(7) 災害時緊急輸送路の沿道建築物に対する耐震診断の補助制度を創設 ★

(開発建築指導課 事業費：310万円)

想定される大規模地震等の発生時において、緊急輸送路を確保するため、その道路に面する一定の高さ以上の旧耐震基準建築物（沿道建築物）に対する耐震診断費用の補助制度（2棟分）を創設し、旧耐震基準建築物の耐震化を促進します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,100	1,550	766			784

(8) 開放型自治会館の建設等に対する補助の上乗せ支援

(市民自治振興課 事業費：2707万円)

公の施設を補完し、市民の利便性を維持・向上させることを目的として、市民活動を行う団体に自治会館を開放する「開放型自治会館」として建設等を行う自治会に対し、補助率を上乗せ（新築の場合、60%を75%に）して支援します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,068					27,068

4 にぎわいと交流を創出する地域経済活性化のための施策

(1) 新東名高速道路 秦野サービスエリア（仮称）関連事業の推進

（道路整備課、都市政策課、産業政策課、観光課 事業費：9823万円）

スマートインターチェンジへのアクセス道路等に必要な用地の取得を引き続き進めます。また、新たな産業系の土地利用を図る新市街地ゾーンについて、事業化に向けた区画整理事業調査等を進めるとともに、企業誘致を図るため、市外企業を対象とした進出意向調査を行います。

さらに、国の交付金を活用し、サービスエリア周辺を新たな拠点として、秦野らしさを生かした「体験」をテーマとした周遊性を高めるルートの創出を検討します。

（単位：千円）

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
道路整備事業 45,470	9,900		7,200		28,370
区画整理事業調査等 39,582	6,400	11,000			22,182
企業の進出意向調査 3,170					3,170
ルート創出の検討 10,000	5,000				5,000
計 98,222	21,300	11,000	7,200		58,722

(2) 映画「じんじん～其の二～」を活用したシティプロモーションの推進

（広報課 事業費：400万円）

今春から予定されている、秦野を舞台とした映画「じんじん～其の二～」の全国での公開に合わせ、この好機を逃さずに、本市の魅力を全国に発信していきます。

（単位：千円）

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,000				財政調整基金 4,000	

(3) 鶴巻温泉と大山を結ぶルート整備のための取り組みを推進 ★

(観光課 事業費：2500万円)

国の交付金を活用し、入込客の増加及び発着地としての鶴巻温泉街の再活性化に向けて、鶴巻温泉と大山を結ぶバスルート整備のための実証運行に取り組みます。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,000	12,500	6,600			5,900

(4) 第70回たばこ祭の開催

(観光課 事業費：3500万円)

本市最大の観光イベントであるたばこ祭が第70回の節目を迎えることから、「秦野らしさ」を特徴づける祭りとして開催します。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
35,000					35,000

(5) 第30回実朝まつりの開催を支援

(市民自治振興課、生涯学習課 事業費：541万円)

実朝まつりが第30回の節目を迎えるとともに、源実朝公の没後800年の節目を迎えることから、記念事業の開催を支援するとともに、市の重要文化財である源実朝公御首塚の周辺整備を行います。

(単位：千円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
記念事業の開催支援 1,600					1,600
御首塚の周辺整備 3,808				ふるさと基金等 3,808	
計 5,408				3,808	1,600

(6) ゼロ市債の活用（3月補正）

(一般会計、水道事業会計、公共下水道事業会計 計：2億5038万円)

工事の端境期となる4・5月の事業量を確保することにより、市内事業者の円滑な経済活動を下支えするため、平成29年度当初予算に計上する市単独工事費の一部について、ゼロ市債を活用します。